



日本将棋連盟

2025. 9

愛知県支部連合会会報

No. 367

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 渋谷 文博



1 瀬戸こども将棋大会

8月17日(日)、瀬戸市文化センターにて、瀬戸将棋文化振興協会と公益財団法人瀬戸市文化振興財団の主催により、瀬戸こども将棋大会が開催され、次の皆様が入賞されました。

	優勝	準優勝	第三位
小学2年生以下 22名	山田 景斗 (多治見市)	伊藤 大凱 (三浦郡葉山町)	田中 洸多 (名古屋市瑞穂区)
			深田 篤生 (名古屋市昭和区)
小学3・4年生 32名	奥山 隼人 (桑名市)	岡 研人 (名古屋市東区)	鯉坂 舜 (日進市)
			宮嶋 三來 (東郷町)
小学5・6年生 31名	水谷 歩 (四日市市)	佐々木 和斉 (名古屋市東区)	原田 旺季 (碧南市)
			片桐 周弥 (岐阜市)
中学生 21名	田中 壮瑛 (名古屋市東区)	山中 惇史 (安城市)	大野 泰亮 (名古屋市瑞穂区)
			清水 太陽 (みよし市)



小学2年生以下



小学3・4年生



小学5・6年生



中学生

2 新しい時代を感じさせた第47回蒲郡将棋名人戦開催

日本の各地で、最高気温が40度超えという報道を聞くことが日常茶飯事になりつつあります。ここ蒲郡では、海風もあり、さすがに40度超えはありませんが、8月に入って猛暑日の連続です。そんな猛暑日のなか、去る8月3日に第47回蒲郡将棋名人戦を開催しました。大会は、外の猛暑と同じくらいの大熱戦が数多く観られました。

さて、蒲郡支部は、7月中旬に「がまごおりじなる」というケーブルテレビの番組取材を受けました。テレビ放映は8月2日からですが、その番組の中で小田支部長は、「愛知県に藤井七冠がいることは名誉なことだが、いつかこの蒲郡支部からプロ棋士を輩出できることが夢です」と力強く語りました。

また、小学校1年生から教室に来て、現在中1になった鈴木君にもインタビューをされました。鈴木君は、これまでに大会で優勝をしたことはありませんが、インタビューの中で、「大会で優勝したいです」と応えました。そして、今回の大会で鈴木君は有言実行をし、見事Cクラスで初優勝をしました。自分の思いを口に出すことで、自分を追い込み、実力が発揮できたことは見事でした。

ここからは、蒲郡名人戦の各クラスの戦いぶりについてです。今回は42名の参加を得ることができました。競技は、A、B、Cクラスに分かれて、自分の棋力に応じたクラスでの対戦です。

今回の大会の特徴は、Aクラスの参加者が多かったことです。予選リーグから、前回優勝者の富増さんと前々回優勝者の高見澤さんが初戦から激突をし、高見澤さんが勝ちきり、決勝トーナメントに。他の予選リーグも過去の入賞者同士の激突が数多くあり、見応えがありました。

決勝トーナメントでは、前回大会入賞の鷹野さんが、準決勝で守永君に惜敗。決勝では、高見澤さんと守永君の顔合わせに。守永君は高見澤さんの教え子です。結果は、最後まで有利に試合を進めていた高見澤さんを守永君が逆転して、見事に初優勝をしました。おめでとうございます。

Bクラスでは、小学生の活躍が目立ちました。特に、今回優勝した宮嶋君は、小学3年生ですが、予選リーグの時から他の大人を寄せ付けないような戦いぶりでした。大変読みが早く、とても小学3年生とは思えないくらいです。決勝トーナメントでも危なげなく、勝ちきりました。今後の活躍が期待されます。

Cクラスでは、小学生からおじいちゃんたちまでの幅広い年代の方々での対局が多く見受けられました。その中で、今回はケーブルテレビの取材を受けた鈴木君が破竹の勢いで予選リーグを勝ち上がり、決勝トーナメントに進出。決勝トーナメントでも実力を遺憾なく発揮し、見事に初優勝をし、とってもうれしそうでした。有言実行したことも立派でした。おめでとうございます。

今回のA、B、Cクラスの入賞者を見ると、若い新たな時代が来そうな予感がしました。ただ、若い人たちに大人が立ちはだかってくれることも期待したいものです。

次回の大会は蒲郡支部設立25周年記念大会になります。日時は11月30日（日）午後1時からです。蒲郡支部の今後の活躍を楽しみにしたいと思います。



入賞は次の皆さんです。

蒲郡支部 指導員 壁谷雅道

	優勝	準優勝	第三位
Aクラス 21名	守永 敏輝 (刈谷市)	高見澤 勝利 (刈谷市)	鷹野 淳 (磐田市)
Bクラス 8名	宮嶋 三来 (愛知郡東郷町)	竹内 久人 (蒲郡市)	逢坂 浩司 (岡崎市)
Cクラス 13名	鈴木 瀧瑛 (蒲郡市)	布藤 忍 (蒲郡市)	中野 亘 (蒲郡市)

3 豊田自動織機杯こども将棋大会

- (1) と き 令和7年9月28日(日)
小学1年生～3年生 9時～受付 9時20分～開会式
小学4年生～6年生 12時30分～受付 12時50分～開会式
- (2) と こ ろ 亀岳林万松寺白龍館2階白龍ホール
名古屋市中区大須三丁目29-12
- (3) 定 員 各学年32名(先着順)
- (4) 申込方法 学年、郵便番号、住所、氏名、生年月日、電話番号を
<https://que.digital.asahi.com/question/11017215>
より 9月21日(日)締切
- (5) 主 催 朝日新聞社
- (6) 特別協賛 豊田自動織機
- (7) 協 力 亀岳林万松寺 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 問 合 せ 朝日新聞社メディア事業本部「名古屋将棋フェスタ」事務局
電話052-222-5100(平日10時～17時)



4 かすがいふれあい将棋大会&講座2025

- (1) と き 令和7年10月18日(土) 9時30分～受付 10時～16時
- (2) と こ ろ 春日井市本庁舎12階大会議室
- (3) 内 容 ①おとな大会
高校生以上
参加費 1,000円
②こども大会
小学生低学年、小学生高学年、中学生
参加費 1,000円
③指導対局
室田伊緒女流三段 森本理子女流1級
参加費 中学生以下1,000円 高校生以上2,000円
- (4) 主 催 日本将棋連盟春日井支部
- (5) 協 力 日本将棋連盟東海普及連合会・愛知県支部連合会
- (6) 協 賛 春日井まつり
- (7) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441(平日13時～16時)

5 第1回トコトコ交流将棋大会

- (1) と き 令和7年10月19日(日) 12時～受付 12時30分～17時

- (2) と こ ろ 江南市地域交流センター (toko+toko=labo)
- (3) 資 格 Aクラス (二段以上) ・ Bクラス (初段以下) 高校生以上
女性クラス 年齢制限なし
- (4) 定 員 Aクラス16名 Bクラス16名、女性クラス16名
- (5) 参 加 費 1,500円 (高校生以下1,000円)
- (6) 申込方法 申込みフォームにて 10月15日 (水) 締切
- (7) 主 催 日本将棋連盟尾張北支部
- (8) 後 援 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (9) 問 合 せ kounanshogi@gmail.com



6 第5回江南子ども将棋大会

- (1) と き 令和7年11月9日 (日) 9時30分～受付 10時～16時
- (2) と こ ろ 江南市地域交流センター (toko+toko=labo) 第1～3会議室
- (3) 定 員 小学2年生以下24名 小学3・4年生24名 小学5・6年生24名
- (4) 参 加 費 500円
- (5) 申込方法 申込みフォームにて 11月4日 (火) 締切
<https://forms.gle/8SMGxRgdxcdhWNZ69>
- (6) 主 催 日本将棋連盟尾張北支部
- (7) 後 援 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 問 合 せ kounanshogi@gmail.com



7 第42期アマチュア王将位東海地区大会

- (1) と き 令和7年11月16日 (日) 受付9時～ 開始10時
- (2) と こ ろ 愛旅連ビル3階会議室 (栄将棋教室向側)
- (3) 資 格 奨励会を段位で退会した日から1年を経過しない方は参加できません。
- (4) 参 加 費 一般3,000円、女性・学生2,000円
支部会員は会員証提示にて500円引
- (5) 全国大会 優勝者1名は令和7年12月6日 (土) ・ 7日 (日) に山形県天童市で開催される
全国大会に東海地区代表として出場
- (6) 特 典 東海地区代表に四段免状
- (7) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441 (平日13時～16時)

【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の行事の日程】

- 9月20日 (土) 名古屋城こども王位戦決勝
- 9月28日 (日) 豊田自動織機杯こども将棋大会
- 10月12日 (日) テーブルマークこども将棋大会
- 10月13日 (月・祝) 第14回J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会東海大会
- 10月18日 (土) かすがいふれあい将棋大会&講座2025
- 10月19日 (日) 第1回トコトコ交流将棋大会
- 10月25日 (土) 板谷杯将棋大会
- 11月9日 (日) 第5回江南子ども将棋大会
- 11月16日 (日) 第42期アマチュア王将位東海地区大会

支部紹介

支部名：大府支部	所在地：大府市	設立：2020年4月
支部長：相川泰一	会員数：10名【一般 5名、女性 1名、学生 4名】	

特色：

大府市は名古屋市・豊明市の南、刈谷市の西、東海市の東側に位置する人口10万人弱の市です。大府支部は、2019年（令和元年）4月に地域クラブとして立ち上げられた「おおぶ将棋クラブ」の有志メンバーで構成されています。

(<https://www.c-sqr.net/c/cs97216>)

支部発足の矢先、緊急事態宣言で4月・5月の活動ができなくなる悪条件に見舞われましたが、2020年6月以降は、2025年現在にいたるまで年間50回（毎週）の例会を休まず続けています。将棋を通じスポーツマンシップを大切にしたい地域交流の場を提供したいという考えのもと、いまは近隣の市内外から40名ほどのクラブ会員が参加してくれています。例会は道場形式で、開催時間中、会員はいつでも入退室自由、事前の出欠連絡も不要です。

例会は棋力差に応じて駒落ちハンデをつける会員総当たりの「段級戦」と、ハンデなし平手戦「レーティング戦」の、ふたつの独立した公式棋戦を軸に運営しています。駒落ち将棋の得意な人・駒落ちは苦手でも平手では強い人など個性が出るのが面白いところです。段級戦の成績により段位・級位を認定し、レーティング戦の結果は段級位と関係なくレーティング点数をつけて会員内で共有・フィードバックしています。

入会希望者のなかには駒の動かし方・禁じ手・王手と詰みの違いなど対局に必要な知識が身についていない入門段階の方もみえますので、希望される方には例会とは別にマンツーマンの入門講座で対局ができるようになるまでのサポートも実施しています。

支部主催の大会は運営負担が大きいことから今まで実施してきませんでしたが、状況が変わりました。卓球の世界で大会運営システムのパイオニアであるP4match社に本支部が依頼・協力する形で将棋大会運営システムの開発が進み、2025年7月にリリースの運びとなりました。大会の登録・告知・申込み・受付・参加費の決済・大会当日の手合／順位づけ等が自動化され運営が画期的に楽になるだけでなく、参加者としても実力の拮抗した対戦が楽しめる「リアル版将棋ウォーズ」とも呼べる仕組みです。うまく活用することで初級・中級レベルの方でも安心して大会に参加できるようになる可能性を秘めていると期待しており、大府支部も活用を始めています。システム利用料はかかりますが、大会参加費が無料ならシステム利用料も0円なので、支部だけでなく会社や学校の部活動でも手軽に利用できるシステムとなっています。興味ある支部・団体の運営者には、ぜひ活用を検討いただければと思います。

(<https://p4match.com/index.php>)



2024年9月の棋士派遣ミニ講座・指導対局会のひとコマ



2024年9月の棋士派遣ミニ講座・指導対局会のひとコマ

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。東海普及連合会のウェブサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp>) からダウンロードもできます。

東海普及連合会・愛知県支部連合会事務所（平日13時～16時）

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp